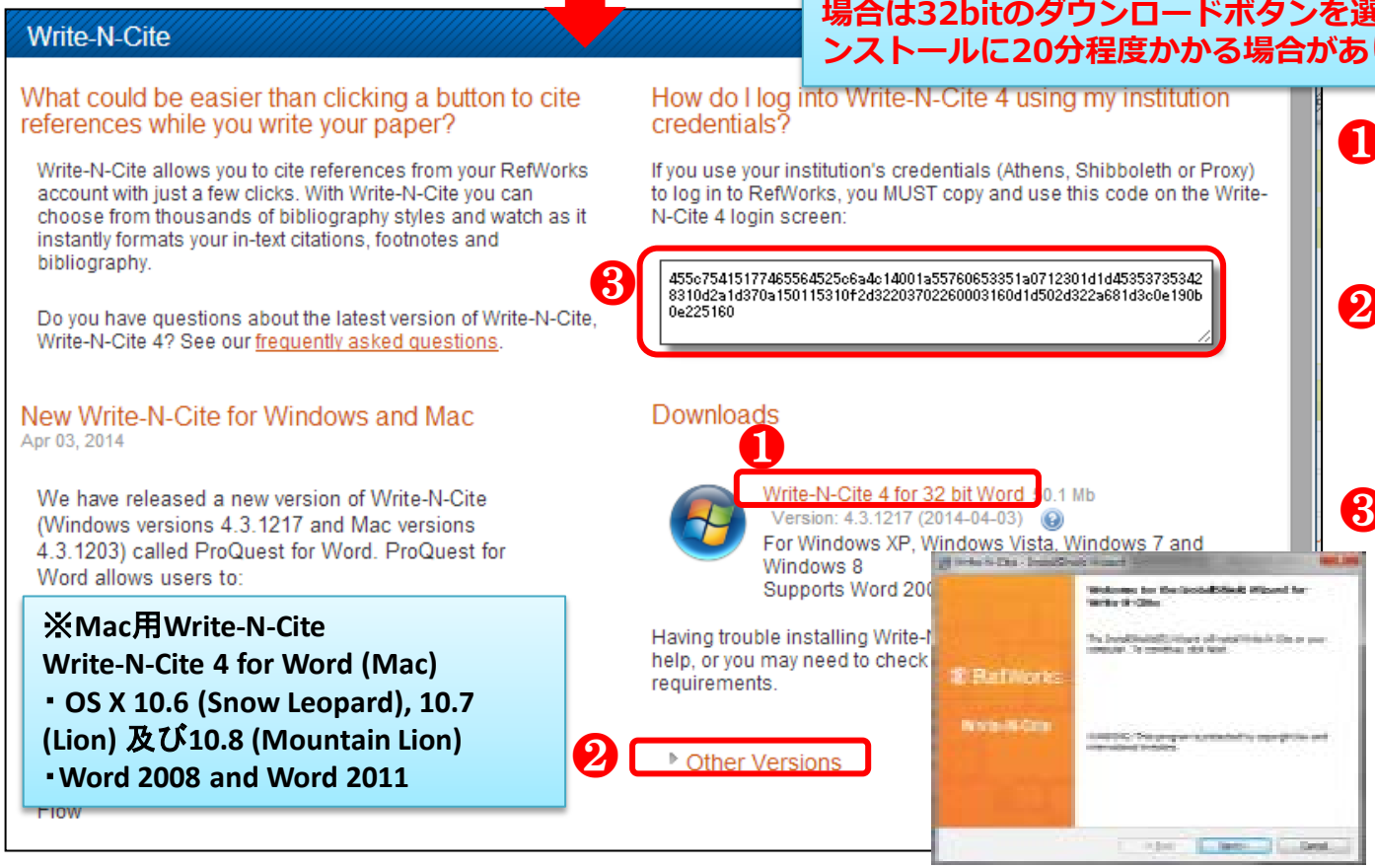
Write-N-Cite ver.4のインストール

RefWorks

RefWorksのメニューバー「ツール」から「Write-N-Cite」をクリックします。

Write-N-Cite ver.4の動作環境
・Windows XP, Vista,7および8
・Microsoft Office Word 2007, 2010および2013
※Officeの種類 32bit/64Bitに合わせてダウンロードボタンを選択してください。
注意：64bit版のOSに32bit版のOfficeをインストールされている場合は32bitのダウンロードボタンを選択してください。ただし、インストールに20分程度かかる場合があります。



※Mac用Write-N-Cite
Write-N-Cite 4 for Word (Mac)
・OS X 10.6 (Snow Leopard), 10.7 (Lion) 及び10.8 (Mountain Lion)
・Word 2008 and Word 2011

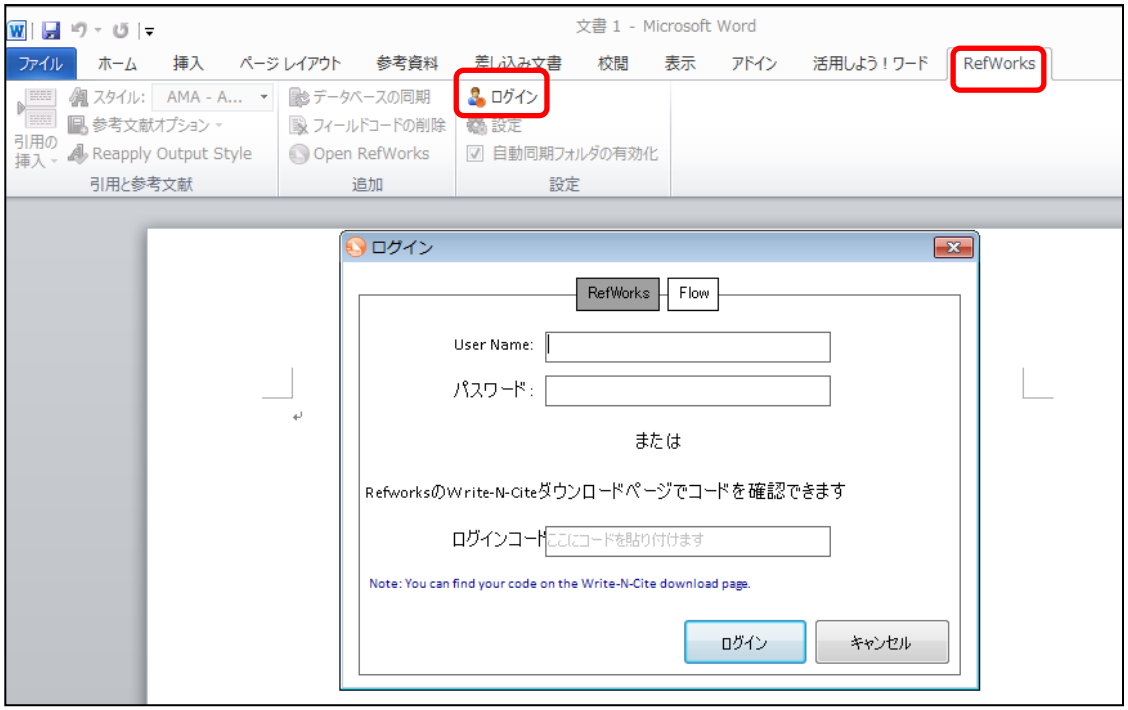
❶ Downloadsの項目にあるダウンロード用のリンクをクリックし、Write-N-Cite ver.4のインストールファイルをダウンロードします。

❷ Write-N-Cite versionⅢやMac用のファイル（※）をダウンロードする場合は"Other Versions"をクリックしてダウンロード用のリンクを表示してください。

❸ インストール後、アカウントへのログイン設定をする際にこちらのログインコードをコピーしておくと便利です。

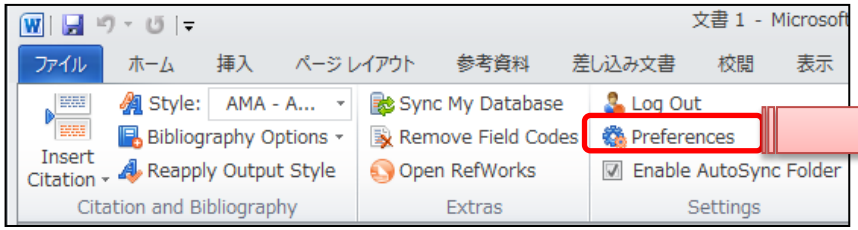
ダウンロードしたファイルを実行してインストールを行ってください。「Next」→「Finish」とクリックしインストールします。

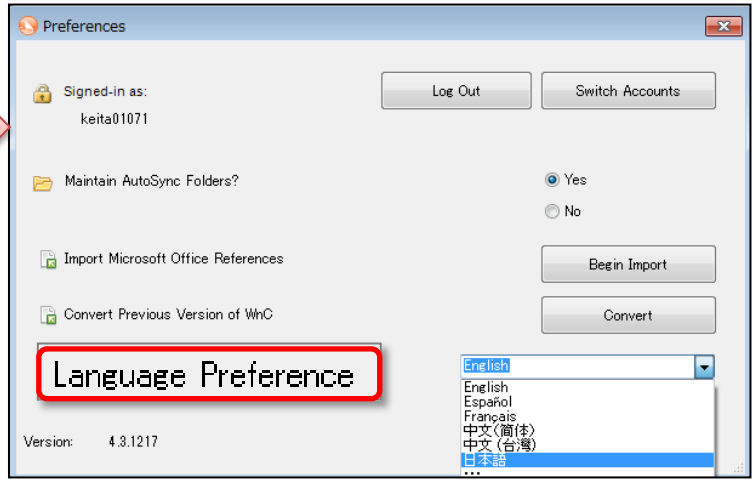
RefWorksアカウントへのログインと日本語インターフェース設定



インストールが完了するとWordのメニュータブ(リボン)に「RefWorks（またはProQuest）」が追加されます。

Write-N-Citeの機能を利用するためにはまずログインが必要となります。ログインをするには、「ログイン」ボタンをクリックしWrite-N-Citeのダウンロード時に画面に表示されていたログインコードをコピー&ペーストするか、ご利用のRefWorksアカウントのユーザー名、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックして下さい。

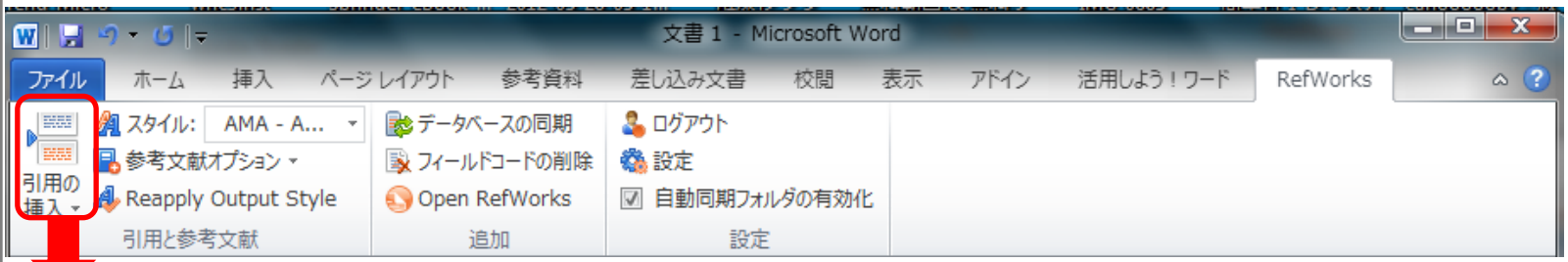


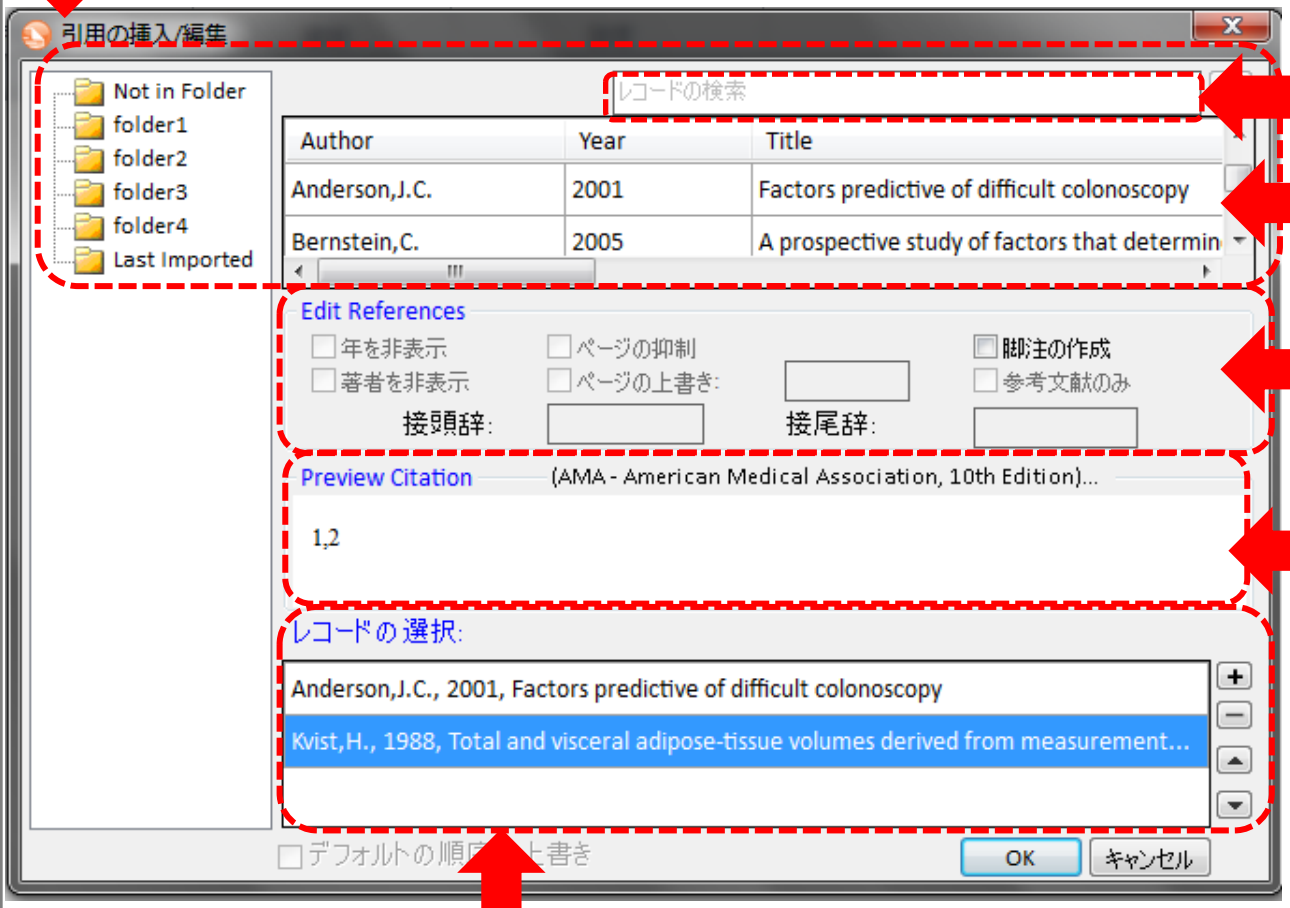


日本語インターフェースでご利用いただくためには、RefWorksのアカウントにログイン後”Preferences”をクリックし”Language Preferences”のプルダウンで「日本語」を選択してください。

論文中にレコードを引用する

RefWorks





ボックスにキーワードを入力すると、条件に合致するレコードが下のレコードリストに表示されます。

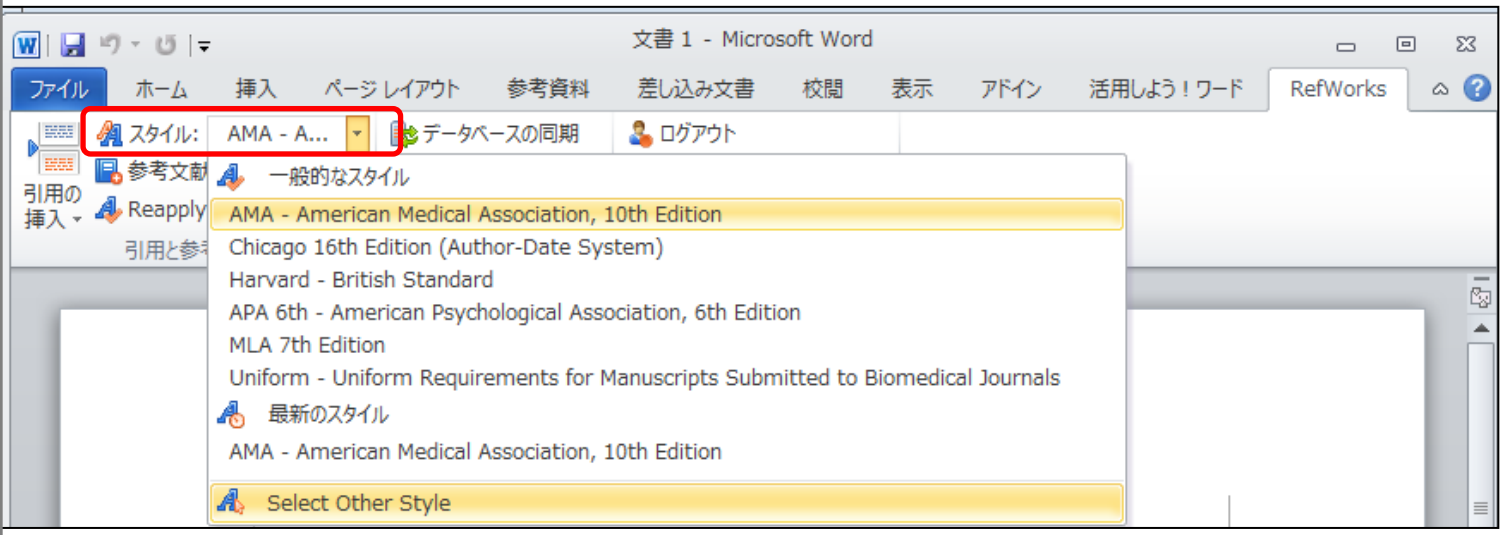
画面左の各フォルダをクリックすると、フォルダ内のレコード一覧が中央に表示されます。

レコードの編集を行います。出版年、著者名、ページの非表示設定やページデータの上書き、脚注の作成が必要な場合はチェックボックスをクリックします。

引用のプレビューが表示されます。「引用と参考文献」の「スタイル」で選択されている出力フォーマットが適用されます。異なる出力フォーマットでプレビューを確認する場合は、あらかじめ「スタイル」で出力フォーマットを選択した後、「引用の挿入」ボタンをクリックして下さい。

引用するレコードが表示されます。レコードの追加、削除、順番の変更を右側のボタンで操作してください。

出力フォーマットを変更する



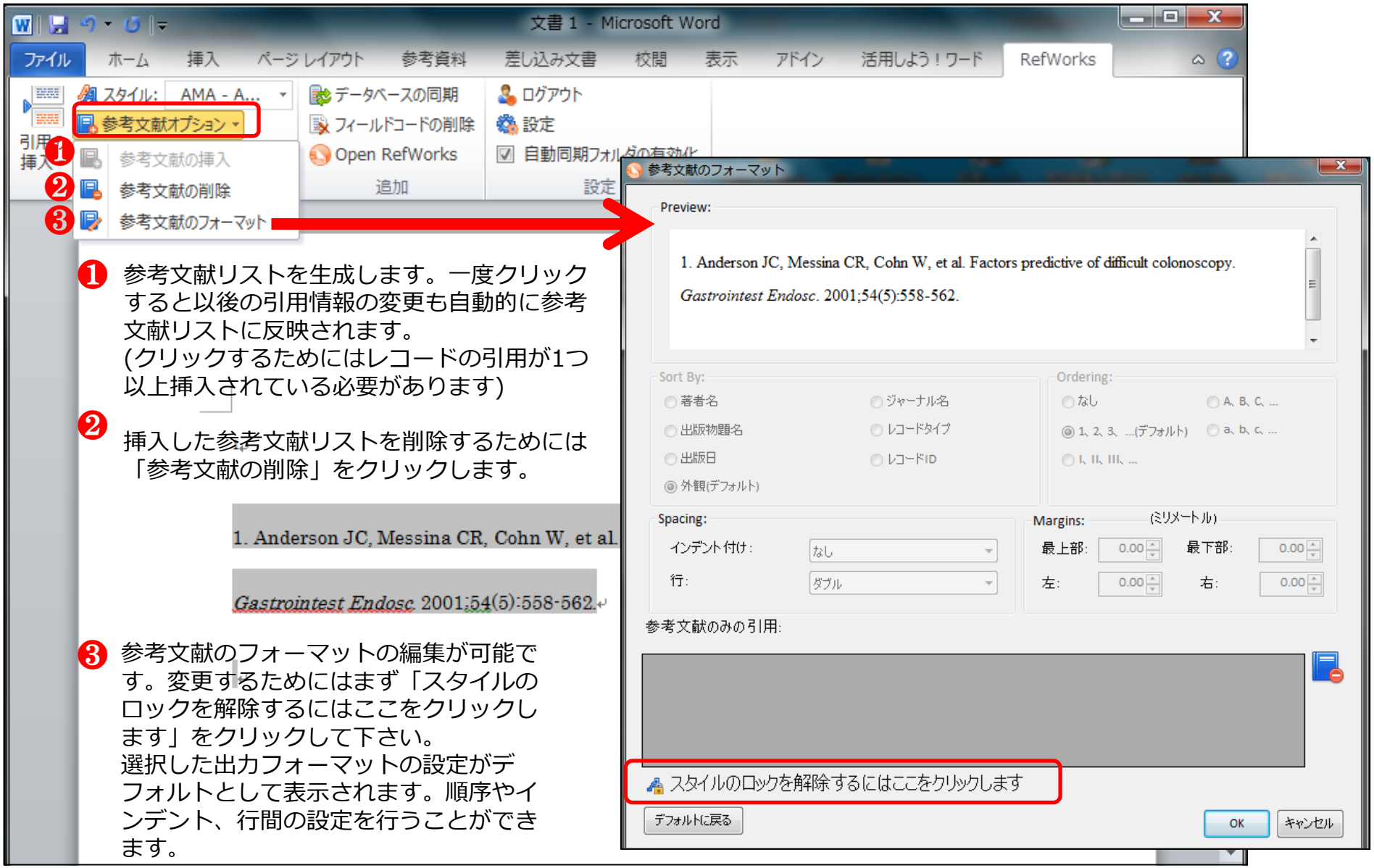
「スタイル」のプルダウンメニューから適用する出力フォーマットを選択します。
一覧に選択したい出力フォーマットが表示されない場合は「Select Other Style」をクリックして下さい。

「フィルタ」からフォーマットのリストを選択して表示します。

こちらにも希望の出力フォーマットが表示されない場合は、RefWorksの「出力フォーマット管理ツール」で「お気に入り」に追加する作業が必要となります。

参考文献リストを挿入・削除・編集する

RefWorks



❶ 参考文献リストを生成します。一度クリックすると以後の引用情報の変更も自動的に参考文献リストに反映されます。
(クリックするためにはレコードの引用が1つ以上挿入されている必要があります)

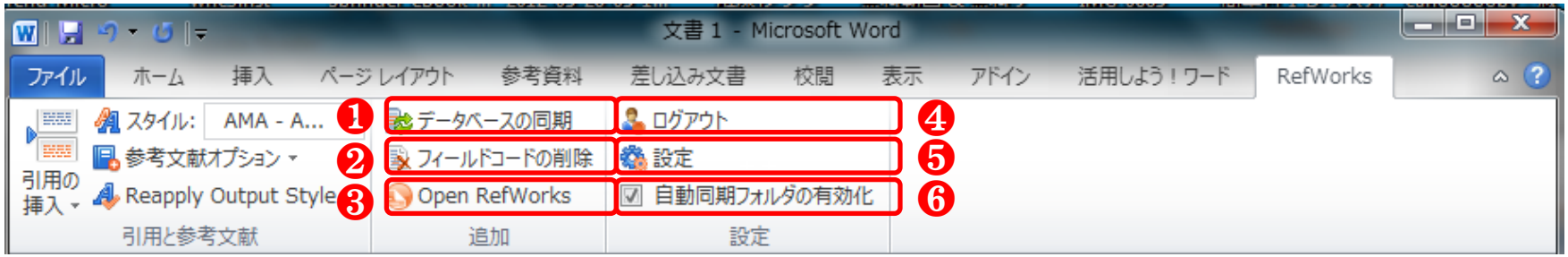
❷ 挿入した参考文献リストを削除するためには「参考文献の削除」をクリックします。

1. Anderson JC, Messina CR, Cohn W, et al.

Gastrointest Endosc 2001;54(5):558-562.

❸ 参考文献のフォーマットの編集が可能です。変更するためにはまず「スタイルのロックを解除するにはここをクリックします」をクリックして下さい。
選択した出力フォーマットの設定がデフォルトとして表示されます。順序やインデント、行間の設定を行うことができます。

各種メニュー



❶ RefWorksアカウントのフォルダおよびレコード情報を同期します。⑥の自動同期フォルダの有効化にチェックが入っていると同期作業は自動的に行われますので、この機能を利用する必要はありません。

❷ フィールドコードを削除します。
フィールドコードを削除すると文中引用や参考文献リストは通常のテキストデータとして扱われ、Write-N-Citeで操作・編集することはできなくなります。

❸ RefWorksを開きます。

❹ ログアウトします。ログアウトすると再びログイン作業を行うまでWrite-N-Citeの機能は利用できません。

❺ 設定画面を開きます。
アカウントの切り替え、Write-N-Cite旧バージョン用ファイルへ変換、言語変更などが可能です。

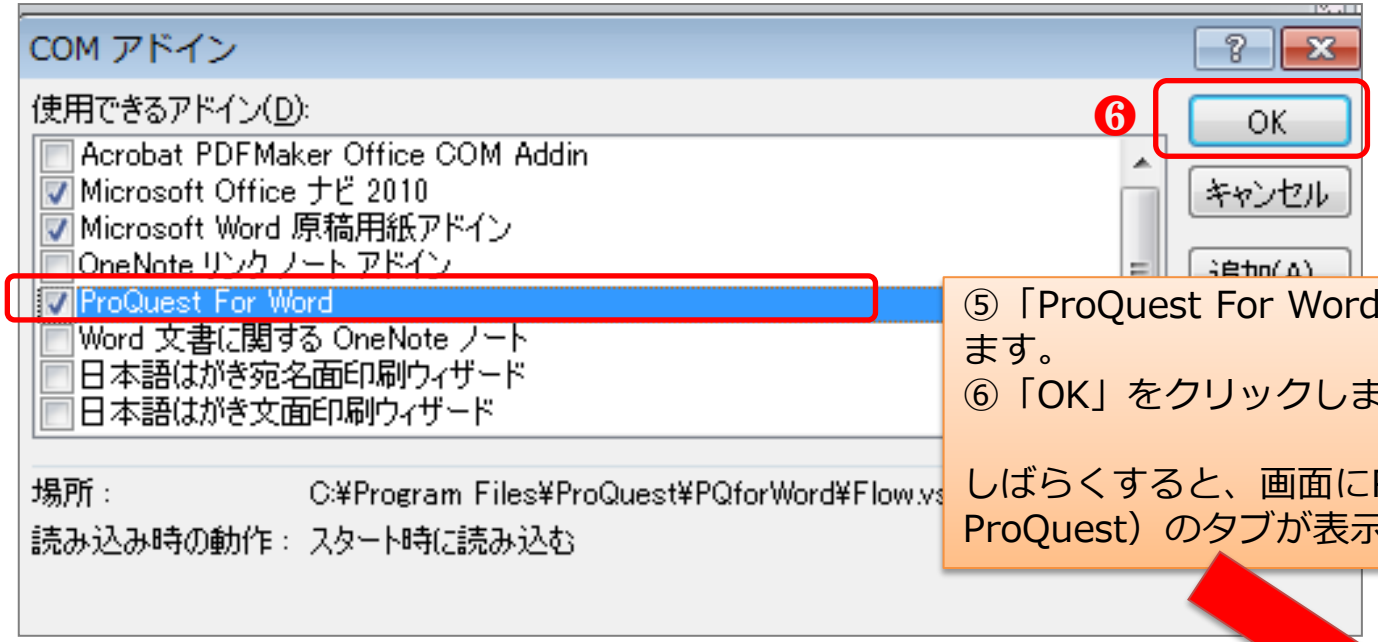
❻ チェックを入れるとRefWorksのアカウントの内容が自動的にWrite-N-Citeに反映されるよう同期する設定が有効になります。

RefWorks（ProQuest）のタブが表示されない場合 (1/2)

①「ファイル」タブをクリックします。
②オプションをクリックします。
③「Wordのオプション」画面で「アドイン」をクリックします。
④「管理」のプルダウンから「COMアドイン」を選択し、「設定」をクリックします。

RefWorks（ProQuest）のタブが表示されない場合 (2/2)

RefWorks



⑤「ProQuest For Word」にチェックを入れます。
⑥「OK」をクリックします。

しばらくすると、画面にRefWorks（またはProQuest）のタブが表示されます。

※こちらの方法でもタブが表示されない場合には、
a)お使いのOSのアップデート 、b)　Javaソフトウェアのアップデート
を行い、再度同じ作業を行って下さい。